

## 第1回東大阪市新水道ビジョン懇話会 議事概要

### 1. 開催概要

日 時	令和2年2月20日(木) 10:00~12:20
場 所	東大阪市上下水道局 水道庁舎2階 第1会議室
出 席 者	<u>委 員</u> 笠原委員、松永委員、角野委員、松浦委員、田口委員 <u>理事者</u> (上下水道局) 西尾、賀川、平山、谷、甲田、木邨、濱野 <u>庶 務</u> (上下水道局) 神谷、熊野、佐藤、山口、與那覇
次 第	1 開会 2 委嘱状の交付 3 上下水道事業管理者あいさつ 4 委員および出席者の紹介 5 座長の互選および副座長の指名 6 座長および副座長あいさつ 7 議事 (案件1) (仮称) 東大阪市新水道ビジョン策定について (案件2) 東大阪市水道事業の概要・現状・課題について (案件3) アンケート調査結果について (案件4) その他 8 閉会
配布資料	資料-1 懇話会委員名簿 資料-2 出席者名簿 資料-3 懇話会要綱 資料-4 (仮称) 東大阪市新水道ビジョン策定について 資料-5 東大阪市水道事業の概要・現状・課題について 資料-6 東大阪市の水道に関するアンケート調査結果(令和2年2月20日版) 参 考 第1回 東大阪市新水道ビジョン懇話会(詳細資料) 参 考 東大阪市水道ビジョン(平成21年3月策定)

## 2. 会議内容（質疑応答）

案 件	主な意見・質問	回 答 等
（仮称）東大阪 市新水道ビジョ ン策定について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 現行のビジョンの内容が、近年の社会環境の変化等に対応できていない。</li> <li>• 水道に対する消費者の意識が低いと感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 市民の皆さまに情報発信することや、対話の機会を増やして、意見を頂きながら良いビジョンを策定していきたい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 概要版を作成することは考えているか？</li> <li>• A3、1枚程度でビジョン全体が分かるようにまとめた方がよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 関心を持って頂けるように、分かりやすい概要版を作成し、懇話会の中でも意見を頂くようにする。</li> </ul>
東大阪市水道事 業の概要・現状・ 課題について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• なぜ職員数が減ってきているのか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 退職により減少している。近年は事務職員の採用を見送り、技術の継承という点で技術職員のみを採用しているため、その影響もある。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「職員一人あたりの有収水量」を指標としている意図を教えてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 他の事業体と比べて、職員数が多く効率性に劣ることを示している。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 職員数の減少は、技術職員の減少によるものか？</li> <li>• 業務効率化に伴い職員は減少しているが、さらに効率化していく必要があるという認識ですね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 事務職員が減っている。</li> <li>• 技術継承のために職員を確保していこうと考えているが、事務職員は行政改革的な方針もあり職員確保を見送っている。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 定年は何歳か？定年を超えると再雇用や嘱託等の技術職が多いのか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 定年は60歳である。事務職員も技術職員も60歳を超えると、再任用職員として5年間採用している。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 再任用職員は、他の職員と同様の仕事をしているか？</li> <li>• 再任用職員を活用して、人材育成に力を入れた方がよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 再任用職員の方には、他の職員と同様の仕事をしてもらい、これまでの経験を活かしてもらっている。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 企業債は今後も増加していく見込みか？また、施設整備や管路整備等のどの事業費が増加していくのか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 今後も事業費の増加に合わせて、企業債は増加していく見込みである。特に管路整備の事業費が増加していく。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 給水収益の減少は、事業系の水量が減り、家庭用が多くなってきていることが原因では？</li> <li>• 東大阪市では給水戸数が増加している。大口の事業系が減少し、家庭用の小口利用者が増加しており、現在の料金体系では収益を継続的に上げていくのが難しくなっているのではないかと？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 中小企業等の減少により、事業系の収入が減少していることが給水収益減少の一つの要因であると認識している。今後、適正な料金体系のあり方を考えていきたい。</li> </ul>

案 件	主な意見・質問	回 答 等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 水質の管理体制はどのようにしているか？</li> <li>• 水源の水質事故等の緊急時の連絡体制はどのようになっているか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 市の職員による水質検査とともに、一部水質項目は大阪広域水道企業団等に検査を委託している。また、市内 16 か所に設置した水質モニターによる自動監視なども行っている。</li> <li>• 水質事故等の発生時は、大阪広域水道企業団の「アクアネット」により情報が送られてくる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 近年、大阪でも台風や地震による災害が発生しているが、災害等による水道への影響についてどのように想定しているか？</li> <li>• 大阪広域水道企業団からの水の供給が止まるとどうなるのか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 国の災害に対する施策において、耐震化以外に、停電、浸水及び土砂災害対策も重要となっている。今回のビジョンの中でも考えていきたい。</li> <li>• 企業団からの水の供給が停止した場合、1 週間分の必要な水（一人当たり約 90L）が確保できるように配水池の耐震化等を進めている。</li> </ul>
東大阪市の水道に関するアンケート調査結果について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 水道水をそのまま飲む人が少なく、「衛生面で不安に感じる」「おいしくない」という意見があるのは憂慮すべき点である。</li> <li>• 高度処理により水をきれいに行っていることを上手に啓発した方が良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• カビ臭やトリハロメタンなどの問題に対して、高度処理の導入により水質が改善されていることを上手く伝えられていないと感じている。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 東大阪市の場合、広域連携をすることで水道料金が下がる可能性があるのか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 連携にも色々あり、災害時の相互支援や、技術面に係る共同研修等、小さな連携は、現行の取組の中でも進めている。今後は、企業団への経営統合のような大きな連携に向けて検討を進めていきたい。</li> </ul>